

第11章 松山遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

松山遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の左岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面に立地している。東側は荒川低地の沖積地と接し、標高9～10m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北500m、東西600m以上である。宅地開発されるが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、すぐ北側に縄文時代早期～後期、飛鳥時代および中近世にわたる長宮遺跡、福岡江川を挟んだ対岸には福岡新田遺跡、同じく対岸の250m南東側には、縄文時代前期集落の鷺森遺跡がある。また、西方約350mの比高差9mを持ってそびえる台地の南東崖面には富士見台横穴墓群が望まれる。

1978年の宅地造成に伴う緊急調査で奈良時代の住居跡を検出したのをはじめ、宅地造成などにより約100ヶ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は、

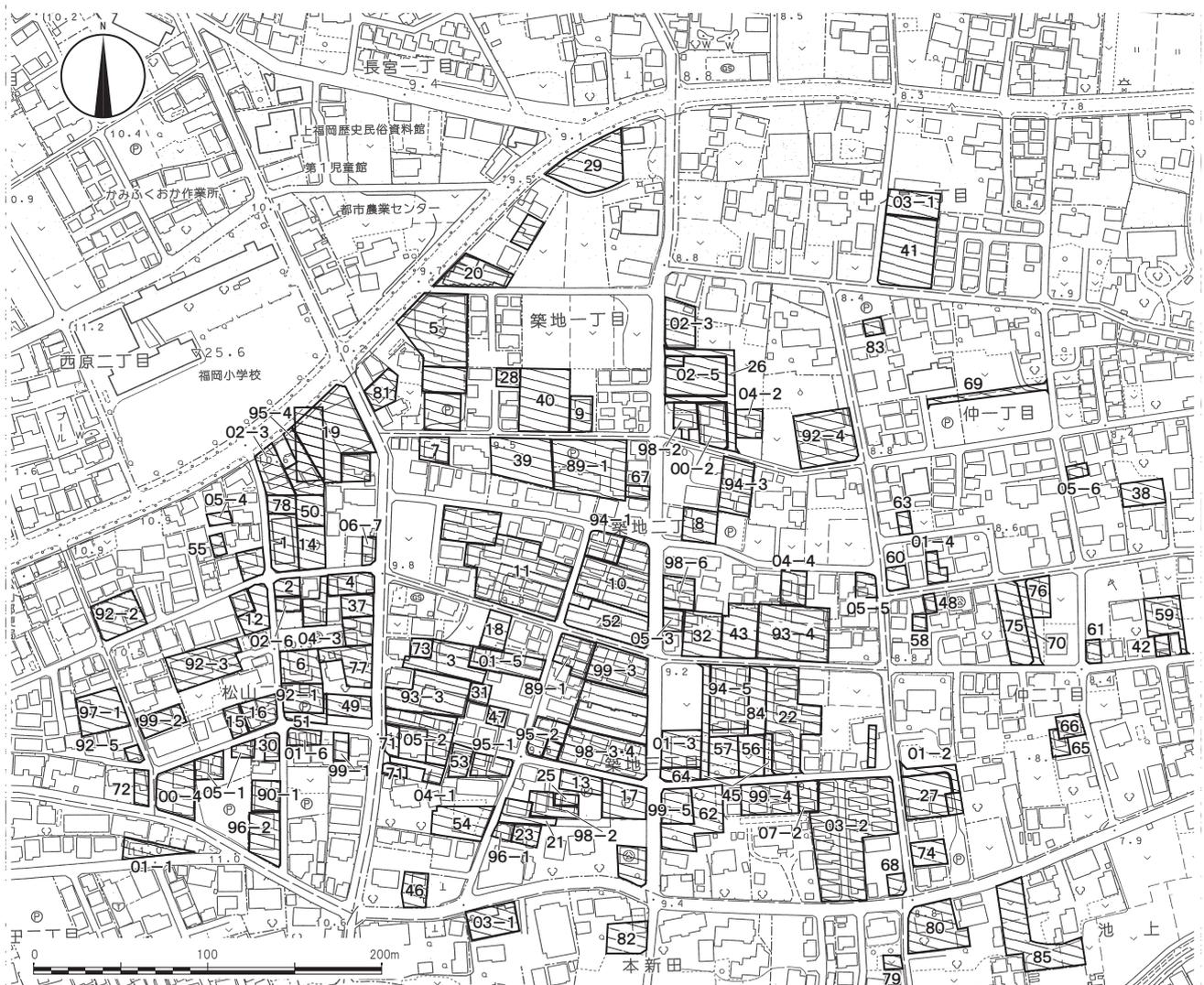
長宮遺跡と接した北寄りに飛鳥時代の住居跡、遺跡中央の東西240m、南北210m程度の範囲に奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡・井戸跡、中近世以降の溝・井戸跡などである。特に溝、井戸等の中近世の遺構は東側の低地へも広がりを見せており、遺跡範囲の変更増補を行った。

II 松山遺跡第69地点

(1) 調査の概要

調査は市道築造に伴うもので、ふじみ野市長より2013年3月25日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北東部に位置するため、関係課と協議の結果、試掘調査を実施した。

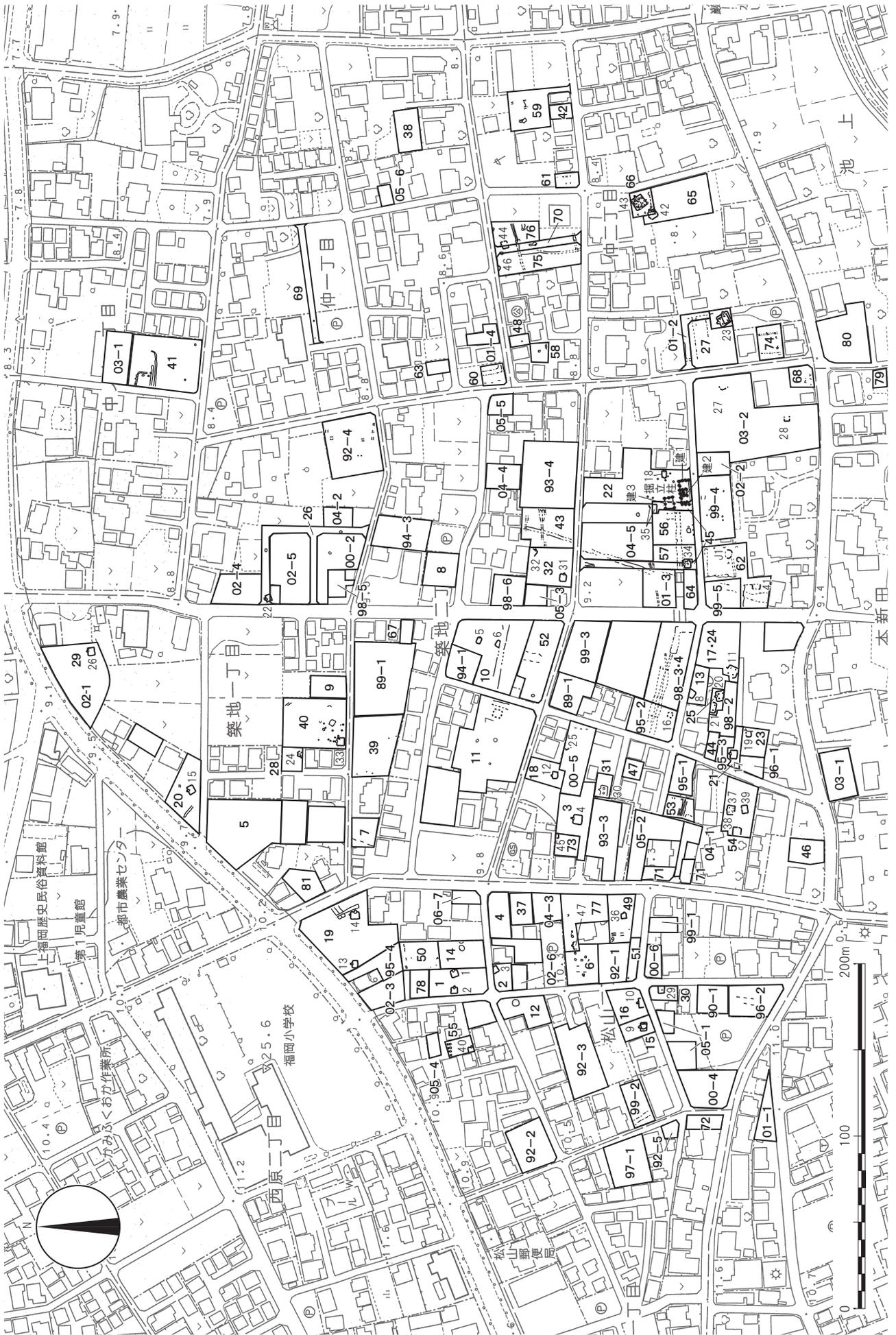
試掘調査は2013年9月10日と11日に行った。幅約1mと1.5mのトレンチ合わせて3本を設定し、



第23図 松山遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第16表 松山遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
05 試(1)	松山 2-2-4 の一部	(2005.4.6~7)	313	土地分譲	遺構遺物なし	市内 1
05 試(2)	築地 3-1-32・34・43	(2005.4.19~21)	549	土地分譲	遺構遺物なし	市内 1
05 試(3)	築地 2-5-32	(2005.4.28)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内 1
31 次	築地 3-1-69	2005.6.14~23(2005.6.9~13)	120	個人住宅	古墳住居跡 1	市内 1
05 試(8)	築地 2-5-3	(2005.8.30~9.13)	567	宅地造成	平安住居跡 1	市内 1
32 次	築地 2-5-3 の一部	(2005.8.30~9.7)9.8~13	132	個人住宅	平安住居跡 2	市内 1
05 試(5)	築地 2-5-36	(2005.10.31)	125	個人住宅	遺構遺物なし	市内 1
05 試(4)	松山 2-4-23	(2005.10.20~21)	161	個人住宅	遺構遺物なし	市内 1
05 試(6)	仲 1-4-26	(2005.11.14)	108	個人住宅	遺構遺物なし	市内 1
05 試(7)	松山 2-5-21	(2006.2.28)	100	個人住宅	遺構遺物なし	市内 2
37	松山 2-6-10・13	(2006.4.13)	228	個人住宅	遺構遺物なし	市内 3
38	仲 1-4-3・9・12・13・24	(2006.5.29)	2,176	宅地造成	遺構遺物なし	市内 3
39	築地 2-3-10	(2007.1.10~20)	937	宅地造成	遺構遺物なし	市内 3
40	築地 1-1-5	(2007.2.2~8)2.21~3.9	1,047	宅地造成	奈良住居跡 1、中世遺構検出	市内 3
41	中ノ島 1-2-5	(2007.2.7~9)2.21~3.5	1,281	宅地造成	中世遺構遺物検出	市内 3
42	仲 2-3-15	(2007.2.13)	108	個人住宅	遺構遺物なし	市内 3
43	築地 2-5-2	(2007.4.11~24)	668	分譲住宅	堀跡 1、土坑 1、旧石器ナイフ 1 点	市内 4
44	築地 3-2-10・14	(2008.6.9~11)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内 6
45	築地 3-4-7 の一部外	(2008.9.4~30)10.1~23	390	道路(上下水道)	奈良・平安時代竪穴住居跡 2、掘立柱建物跡 2、竪穴状遺構 1、時期不明の溝 10、土坑、ピット	市内 6
46	築地 3-1-33・35 の一部	(2009.2.17)	309	個人住宅	遺構遺物なし	市内 6
47	築地 3-1-52	(2009.5.11・12)	121	個人住宅	ピット	市内 8
48	仲 2-2-34	(2009.7.1)	67	個人住宅	遺構遺物なし	市内 8
49	松山 2-6-1・14・22 の一部	(2009.10.17~22)10.27~11.18	449	宅地造成	平安時代竪穴住居跡 1(住居内鍛冶炉検出)、土坑 1、溝 1、ピット 1	市内 8
50	松山 2-5-3・17	(2009.11.27~12.1)	797	分譲住宅	溝 1、ピット 7	市内 8
51	松山 2-6-22・23・28 の一部	(2010.5.10~13)	360	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 10
52	築地 2-2-1	(2010.8.26~9.3)	694	分譲住宅	溝 1、落とし穴 1、工事立会	市内 10
53	築地 3-1-11	(2010.9.10~21)	205	個人住宅	近代以降の溝 3、アナグラ 1、慎重工事	市内 10
54	築地 3-1-6・76~83	(2010.9.21~10.1)10.4~11.5	540	宅地造成	奈良・平安住居跡 3 確認、西側 1 の住居は盛土保存、他 2 は本調査	市内 9
55	松山 2-4-24 の一部	(2011.1.17)1.18~31	226	個人住宅	奈良平安時代の住居跡 1、掘立柱建物跡 1、本調査	市内 10
56	築地 3-4-7・8 の一部	(2011.4.4~14)4.11~15	483	共同住宅	奈良平安時代掘立柱建物跡 2 他、本調査(一部工事立会)	市内 11
57	築地 3-4-47	(2011.4.4~15)	241	分譲住宅	隣接する 45 地点から続く H34 号住居跡と溝、遺物なし	市内 14
58	仲 2-2-31	(2011.6.6~8)6.14	115	個人住宅	井戸 1、溝 1、ピット 1、本調査	市内 14
59	仲 2-3-6・9	(2011.8.8・9)8.10・11	560	個人住宅	土坑 2、溝 3、縄文土器、須恵器、本調査	市内 14
60	仲 1-1-15	(2012.3.26・27)	165	個人住宅	堀跡 1、溝 1、陶磁器、焙烙、工事立会	市内 14
61	仲 2-3-3	(2012.4.16~19)	113	個人住宅	溝 1、土坑 3、陶磁器	市内 15
62	築地 3-5-11・14・19	(2012.6.11~21)7.23~8.1	842	分譲住宅	縄文時代住居跡 1、奈良平安時代住居跡 1、溝 6、縄文土器、銭貨、他	市内 12
63	仲 1-1-55・56・57	(2012.6.5)	120	個人住宅	遺構遺物なし	市内 15
64	築地 3-4-9	(2012.6.7~15)	314	分譲住宅	溝 4、近世の土坑、陶磁器	市内 15
65	仲 2-1-25・36	(2013.2.13~18)2.19~3.21	630	物置	奈良平安住居跡 2、掘立柱建物跡 3、土坑 6、溝 6、須恵器、旧石器	市内 15
66	仲 2-1-53・54		179	個人住宅		市内 15
67	築地 3-3-13	(2013.2.19)	92	個人住宅	遺構遺物なし	市内 15
68	築地 3-5-1	(2013.3.7・8)	166	個人住宅	井戸 1、土坑 1、ピット 4、須恵器、土師器等	市内 15
69	仲 1-51・53・55	(2013.9.10・11)9.12~17	298	道路築造	縄文時代集石土坑 1、溝 1	市内 18
70	仲 2-2-39・41	(2013.4.11~16)4.17~23	220	道路	奈良平安住居跡 1、中世以降井戸 1、集石土坑 1、溝 2、須恵器、土師器、土錘、陶磁器	市内 18
71	築地 3-1-16・32・34	(2013.4.30~5.1)	240	分譲住宅	ピット 1、古銭、陶器片 1	市内 18
72	松山 1-4-1	(2013.5.24)	199	個人住宅	遺構遺物なし	市内 18
73	築地 3-1-56	(2013.8.19)8.20	165	個人住宅	平安時代住居跡 1、須恵器	市内 18
74	仲 2-1-37	(2013.12.24~26)	280	分譲住宅	井戸 1、集石土坑 1、溝 2、土坑 1、陶磁器	市内 18
75	仲 2-2-2・4	(2014.1.14~20)8.5~11	606	分譲住宅	平安住居跡 1、溝 3、須恵器、土師器	市内 18
76	仲 2-2-48	(2014.1.22~28)9.26~10.2	120	個人住宅	土坑 1、井戸 1、溝 1、土器	市内 18
	仲 2-2-37	(2014.1.22~28)11.12~17	120	個人住宅	古代住居跡 1、土師器	市内 18
	仲 2-2-37	(2014.1.22~28)	362	造成工事	平安時代住居跡 1、井戸 2、溝 2、土坑 3、土師器、須恵器、中世陶器	市内 18
77	松山 2-6-2・3・12 の各一部	(2014.3.3~12)3.13~27	493	個人住宅	平安時代住居跡 1、土坑 3、土師器、須恵器	市内 18
78	松山 2-5-5	(2013.5.22)	242	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
79	本新田 395-1 の一部	(2014.8.5)	153	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
80	池上 372	(2015.3.12)	1,183	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
81	築地 1-1-12	(2015.3.23)	247	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告
82	本新田 411 の一部	(2015.7.30・31)	194	個人住宅	溝 1、遺物なし	未報告
83	仲 1-2-22	(2015.8.31)	98	分譲住宅	溝 1、遺物なし	未報告
84	築地 3-4-13	(2015.9.15・16)	455	宅地造成	平安時代住居跡 1、井戸 1、土師器	未報告
85	池上 362-1 の一部、364・365・366 の一部	(2015.10.1~19)10.20~26	1,244	分譲住宅	古代時代住居跡 2、屋外炉 1、溝 1、土師器、陶磁器、石製品	未報告



第24図 松山遺跡遺構分布図 (1/3,000)

重機で表土除去後、人力による表面精査を行った結果、縄文時代とみられる集石土坑 1 基を確認した。遺跡確認面までの深さは約 60～70 cm であり、遺構への影響が避けられないため、本調査を実施した。

本調査は試掘調査に引き続き 12 日～17 日まで行った。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。遺構と遺物は、次のとおりである。

(2) 遺構と遺物

【集石土坑】 調査区の西部に位置し、土坑の平面形

態は円形を呈する。規模は確認面径 84 × 76 cm、底径 47 × 46 cm、深さ 23 cm である。礫は土坑内から密に出土する。出土礫の詳細は第 18 表のとおりである。

【溝】 調査区の西部に位置し、調査区に沿って東西方向に伸びるが、北側の立ち上がりは未確認である。南側の立ち上がりは緩やかである。上幅 70 cm 以上、下幅 25 cm 以上で深さ 32.9 cm である。近世以降の時期で土地境の溝の可能性はある。

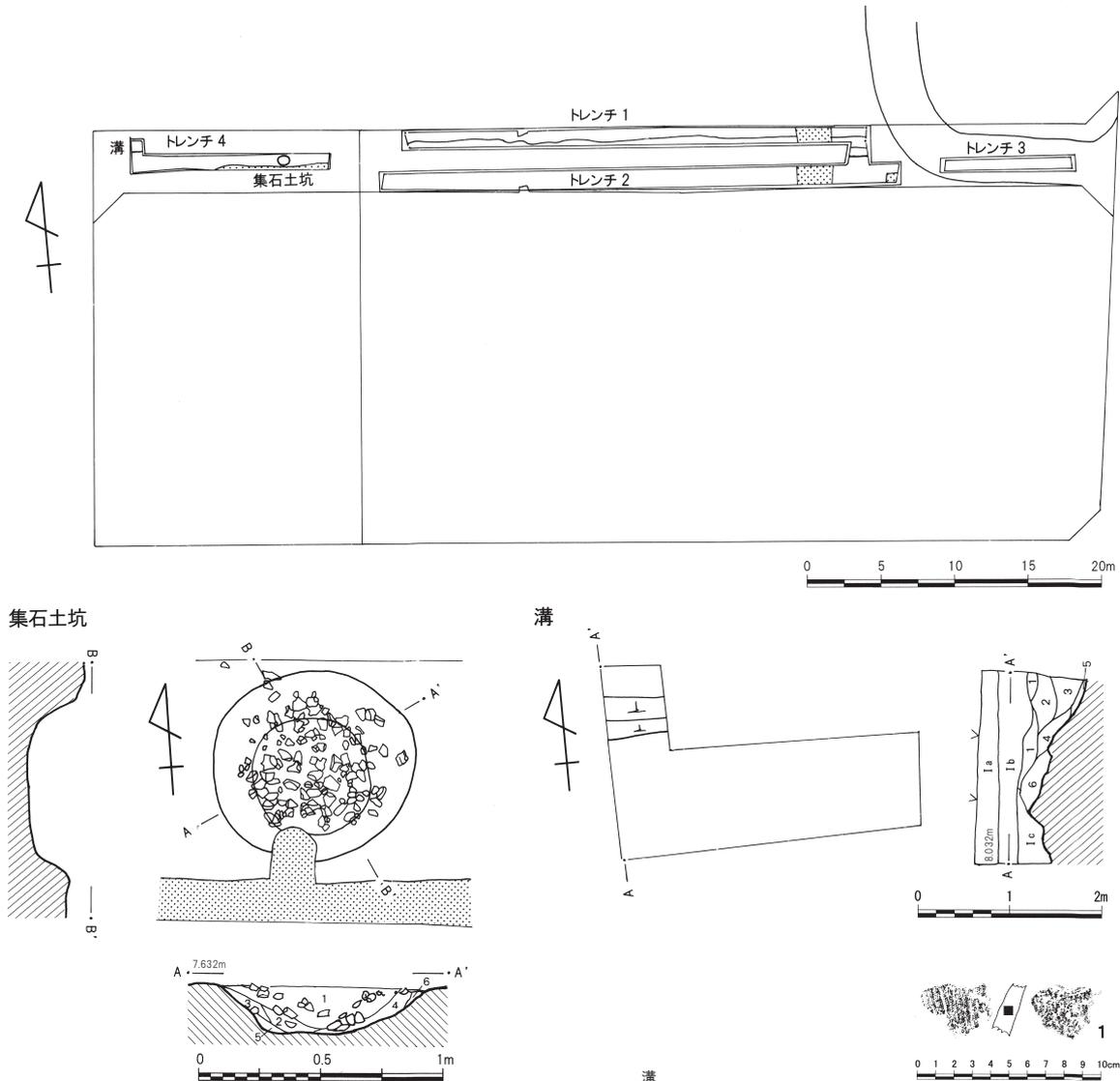
【遺物】 (第 25 図 1) 1 は表土層出土の縄文時代早期の土器で、胎土に繊維を含み外面に条痕文を施す。

第 17 表 松山遺跡古代住居跡一覧表 (単位 cm)

住居番号	調査年度	調査名	調査率	平面形 ()は推定	規模	炉		カマド 規模cm	周溝	主軸方位	時期	備考	文献
						カマドK	設置壁						
1	1978	第 1 次 1 号住居	完掘	正方形	390 × 380	K	東	110 × 75	○		国分前半		埋蔵文化財の調査 I
2	"	第 1 次 2 号住居	完掘	台形	360 × 320	K	東	120 × 85	○		国分前半		埋蔵文化財の調査 I
3	1979	第 2 次 3 号住居	2/3	(方形)	350 × 10	K	東		一部		国分後半		埋蔵文化財の調査 II
4	"	第 3 次 4 号住居	完掘	方形	530 × 475	K	北	200 × 100	○	N-14-E	国分後半		埋蔵文化財の調査 II
5	1991	第 10 次 5 号住居	完掘	長方形	230 × 350	K	北→東		○		9c 2 半期		埋蔵文化財の調査 14
6	"	第 10 次 6 号住居	2/3	方形	340 × 300	K	東		○		9c 2 半期		埋蔵文化財の調査 14
7	"	第 11 次 7 号住居	完掘	正方形	400 × 400						8c 4 半期		埋蔵文化財の調査 14
8	1992	第 13 次 8 号住居	3/4	(方形)	400 ×					N-10-E	8c 3 半期		埋蔵文化財の調査 15
9	1993	第 15 次 9 号住居	完掘		A440 × 350、 B420 × 310、 C260 × 300	K	東→北	A210 × 210、 B210 × 210、 C80 × 65	○		9c 1 半期	鉄鉢型須恵器出土	埋蔵文化財の調査 16
10	"	第 16 次 10 号住居	1/3	正方形	560 × 560	K	北	130 × 80	○		8c 4 半期		埋蔵文化財の調査 16
11	"	第 17 次 11 号住居	完掘	方形	600 × 600	K	北		○	最大住居	7c 4 半期	黒色土師器出土	埋蔵文化財の調査 16
12	"	第 18 次 12 号住居	完掘	方形	400 × 320	K	北		(○)		8c 4 半期		埋蔵文化財の調査 16 と市史
13	1994	第 19 次 13 号住居	完掘	長方形	450 × 300	K	北		○	N-5-E	9c 1 半期		松山遺跡第 19 次調査概要
14	"	第 19 次 14 号住居	完掘	長方形	450 × 500	K	東→北		○	N-5-E	9c 1 半期	土錘出土	松山遺跡第 19 次調査概要
15	"	第 20 次 15 号住居	完掘	長方形	370 × 470	K	北西	70 × 70	○		7c 4 半期		松山遺跡第 20 次の調査
16	1995	7 年試掘(2)16 号住居								N-20-W	6c		未報告
17	"	第 21 次 17 号住居	完掘	長方形	480 × 400	K	北		○		7c 4 半期		埋蔵文化財の調査 19
18	1997	第 22 次 18 号住居	完掘	長方形	240 × 460	K	東	90 × 60	○	N-50-E	8c 末		埋蔵文化財の調査 20
	"	第 22 次 1 号掘立	部分	長方形	東西 5 間南北 3 間						8c 末～9c 初		埋蔵文化財の調査 20
	"	第 22 次 2 号掘立	部分	長方形	東西 2 間南北 2 間						8c 末～9c 初		埋蔵文化財の調査 20
	"	第 22 次 3 号掘立	部分	長方形	(東西 2 間)南北 3 間						8c 末～9c 初		埋蔵文化財の調査 20
19	1998	第 23 次 19 号住居	4/5	長方形	260 × 290				○	N-30-W	8c 後半	土錘 6 点出土	埋蔵文化財の調査 21
20	1999	第 25 次 20 号住居									8c 初頭	暗紋土師器	市史通史編
21	"	第 25 次 21 号住居									8c 初頭		未報告
22	2000	第 26 次 22 号住居	完掘		360 ×	K	北		○		7c 後半	14 年度完掘、 焼失住居	埋蔵文化財の調査 23
23	"	第 27 次 23 号住居	完掘	台形	600 × 720	K	北		○		8c 半ば		埋蔵文化財の調査 23
24	2001	第 28 次 24 号住居	1/2		340 ×	K	北西		○		8c 中葉		埋蔵文化財の調査 24
25	2000	12 年度試掘 5	2/3										埋蔵文化財の調査 23
26	2002	第 29 次 26 号住居	完掘	長方形	420 × 360	K	北		○		7c 後半		埋蔵文化財の調査 25
27	2003	15 年度試掘 27 号住居	一部		(盛土保存)							プランのみ確認	埋蔵文化財の調査 26
28	"	15 年度試掘 28 号住居	1/2		(盛土保存)							プランのみ確認	埋蔵文化財の調査 26
29	"	第 30 次 29 号住居	完掘	長方形	360 × 420	K	東		○		9c 前半		埋蔵文化財の調査 26
30	2005	第 31 次 30 号住居	完掘	長方形	360 × 600	K	北		○			土錘出土	市内遺跡群 1
31	"	第 32 次 31 号住居	完掘	長方形	380 × 330 ×	K	東		○	S-65-E	9c 中葉		市内遺跡群 1
32	"	第 32 次 32 号住居	1/2	長方形	東西 4 m × 南北 3 m 以上	K	東		○	S-85-E			市内遺跡群 1
33	2006	40 地点 H33 号住居	完掘	方形	455 × 420	K	北	98 × 154	○	N-5-E	8c 後半		市内遺跡群 3
34	2008	45 地点 H34 号住居	完掘	方形	364 × 361	K	東	122 × 125	○	N-96-E			市内遺跡群 6
35	2008	45 地点 H35 号住居	1/2	(方形)	504 × (222)				○				市内遺跡群 6
36	2009	49 地点 H36 号住居	完掘	方形	280 × 290	K	東	105 × 100	○	N-92-E	8c 後半	鍛冶炉 1	市内遺跡群 7
37	2010	54 地点 H37 号住居	完掘	方形	434 × 524	K	北	70 × 86	○	N-13-E	8c 1 四半期		市内遺跡群 9
38	2010	54 地点 H38 号住居	一部	方形	(440) × 468	K	東	95	○	N-107-E	8c 1 四半期	プラン確認	市内遺跡群 9
39	2010	54 地点 H39 号住居	完掘	方形	336 × 459	K	北	79 × 101	○	N-4-E	8c 1 四半期		市内遺跡群 9
40	2011	55 地点 H40 号住居	3/4	(方形)	(300) × (320)	K	東	95 × 123	○	N-90-E	9c 前半		市内遺跡群 10
41	2012	62 地点 H41 号住居	3/4	(方形)	410 × (300)	K	北			N-18-E			市内遺跡群 12
42	2013	65・66 地点 H42 号住居		方形	460 × 440	K	東	110 × 106	○	N-62-E	9c 前半		市内遺跡群 15
43	2013	66 地点 H43A 号住居		方形	470 × 470	-	-	-	-	N-66-E	9c 中葉前後以降		市内遺跡群 15
	2013	66 地点 H43B 号住居		方形	700 × 700	K	東		○	N-66-E	9c 中葉前後以降		市内遺跡群 15
44	2013	70・76 地点 H44 号住居		(長方形)	(420) × 340	K	北	80 × 65	○		8c 前半		市内遺跡群 18
45	2013	73 地点 H45 号住居		不明	(238 × 125)				○		8c 中～後半		市内遺跡群 18
46	2013	75 地点 H46 号住居		不明	(320 × 145)				○		8c 前半～中		市内遺跡群 18
47	2013	77 地点 H47 号住居		不明	410 × (95)	K	北	156 × 135	○		8c 後半～9c 初		市内遺跡群 18

第18表 松山遺跡第69地点集石土坑・出土礫観察表 (単位 cm・g)

平面形態	確認面径	底径	深さ	備考	総点数	総重量	平均重量	破損数	完形数	焼成数	未焼成数	タール・煤付着数	タール・煤未付着数
円形	84 × 76	47 × 76	23.0		197	10,910.26	55.38	5(2.54%)	192(97.46)	111(56.35%)	86(43.65%)	66(33.50%)	131(66.50%)



集石土坑

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、1mm以下焼土・3mm以下炭化物少し含む、焼石は大半が割れたもの
2. 黒色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒・焼土やや多く、5mm以下炭化物多く含む
3. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、2mm以下焼土・5mm以下炭化物やや多く含む
4. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、3層に似る、シミ状に黒褐色土・ローム土、3mm以下焼土・5mm以下炭化物やや多く含む
5. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、硬化している、2mm以下焼土多く、5mm以下炭化物やや多く含む
6. 赤褐色土 締り強、粘性有、硬化している、焼土主体、縦位に1cm厚黒褐色土を挟む

溝

- I a. 砂礫層 上半は灰色碎石層、下半は黄褐色土ベースに円礫多く含む
 I b. 黄灰色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒少し含む
 I c. 黄褐色土 締り有、粘性有、黒褐色土主体にローム土・5cm以下ロームブロック多く含む
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、やや灰色味が有る、2cm以下ロームブロック・粒・3cm以下礫少し含む
 2. 暗黄灰色土 締り有、粘性有、黒褐色土主体、3mm以下ローム粒やや多く含む
 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒少し含む
 4. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、ソフト質の5mm以下ローム粒やや多く含む
 5. 黄褐色土 締り強、粘性有、暗黄灰色土主体に1cm以下ソフト質ロームブロック多く含む
 6. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒少し、2mm以下焼土僅かに含む

第25図 松山遺跡第69地点遺構配置図 (1/500)、集石土坑 (1/30)、溝 (1/80)、出土遺物 (1/4)



鶴ヶ舞遺跡第20地点調査風景



鶴ヶ舞遺跡第20地点トレンチ1



鶴ヶ舞遺跡第21地点調査風景



鶴ヶ舞遺跡第21地点トレンチ1



鶴ヶ舞遺跡第25地点(旧鶴ヶ舞遺跡第18地点)調査風景



鶴ヶ舞遺跡第25地点(旧鶴ヶ舞遺跡第18地点)トレンチ



松山遺跡第69地点調査風景



松山遺跡第69地点調査風景



松山遺跡第 69 地点トレンチ 1



松山遺跡第 69 地点トレンチ 1 土層



松山遺跡第 69 地点トレンチ 2



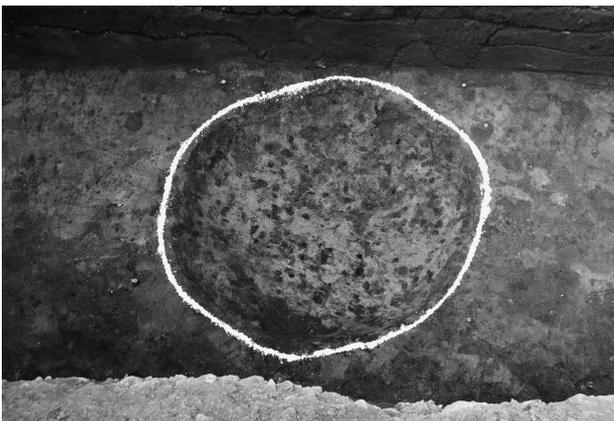
松山遺跡第 69 地点溝



松山遺跡第 69 地点トレンチ 4



松山遺跡第 69 地点集石土坑土層



松山遺跡第 69 地点集石土坑完掘



松山遺跡第 69 地点出土遺物